



あまがさき子ども・子育てアクションプラン

～「働く」も「子育て」も応援するまち～

令和5年11月28日

尼崎市長 松本 眞

働きやすいまち・尼崎

尼崎は市内に13もの駅があります。まちじゅうにはバス路線が張り巡らされ、市内の移動も、市外への移動もとても便利。

そして近隣には大都市もあり、市内にも多くの働く場があります。

もっと子どもと過ごす時間を

働く場所と家が近くなれば、もっと子どもと過ごす時間を増やすことができます。

子育ての負担が減れば、もっと子どもと向き合うことができます。

働きやすいまち・尼崎は、子育てしやすいまちを目指します。

「働く」も「子育て」も応援するまち

尼崎市が目指すのは単に「子育てしやすいまち」というだけではなく、

「働く」も「子育て」もしやすいまち。

働きながら、しっかりと子どもを育てることができる。

そんなまちを創ります。



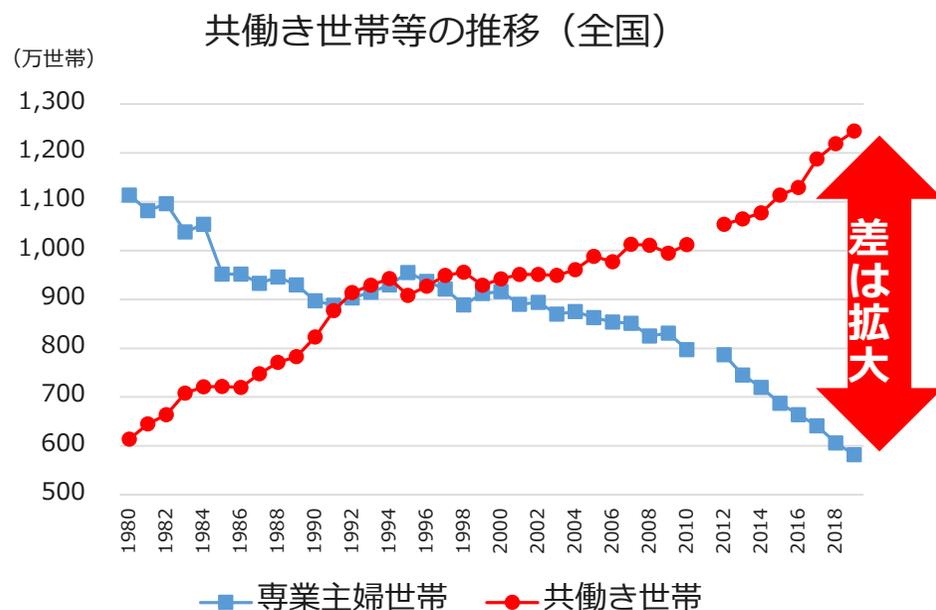
子ども・子育てアクションプランの背景



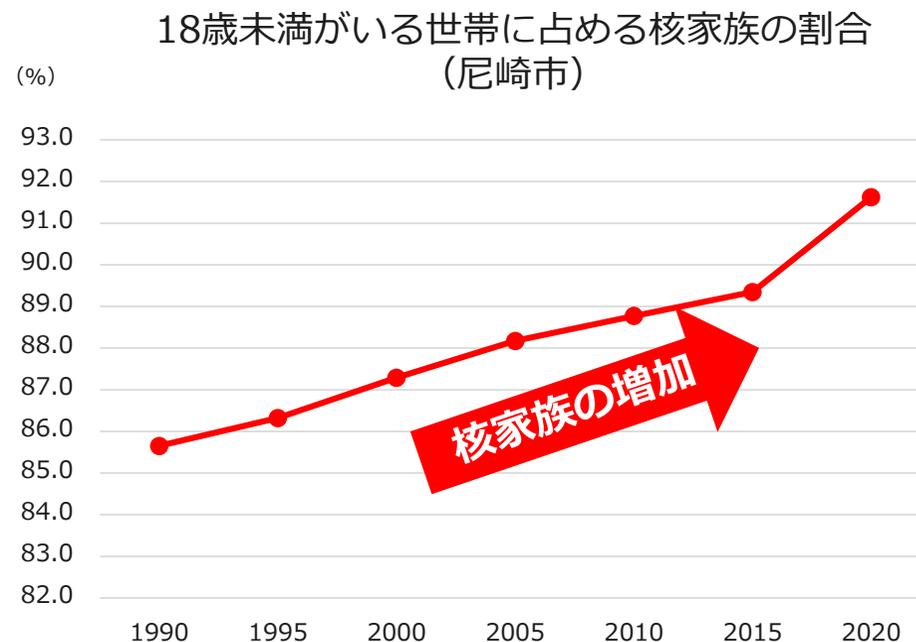
■ 増加する共働き世帯と核家族

専業主婦世帯の割合が減少するとともに、共働き世帯の割合が増加し、1990年代を境にその差は拡大している。

核家族も増加し、親の子育て負担は増大している。



出所 厚生労働省「令和2年版 厚生労働白書」

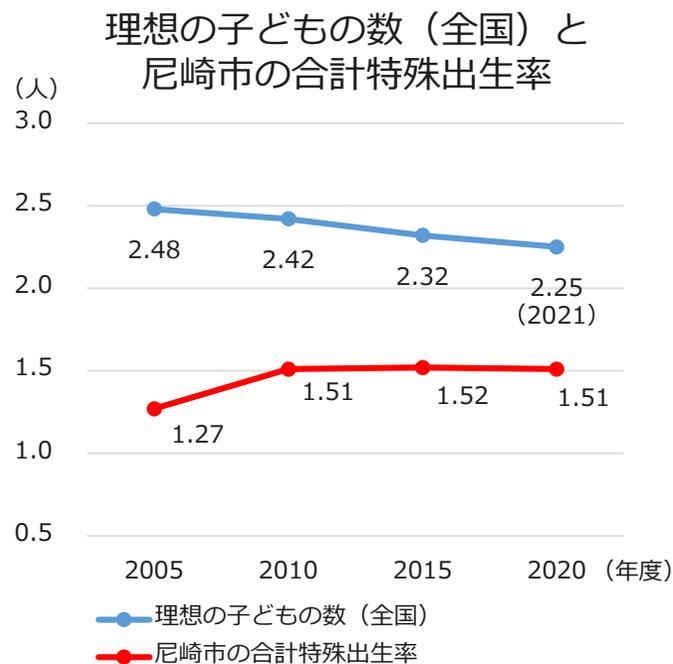


出所 国勢調査をもとに本市で作成



■ 出産・子育てに対する負担感

夫婦が理想の数の子どもを持たない理由では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」等の理由が多い。



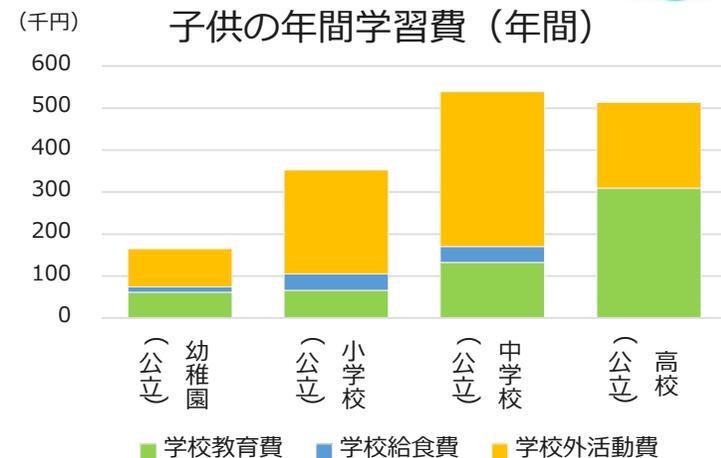


■ 教育費の負担

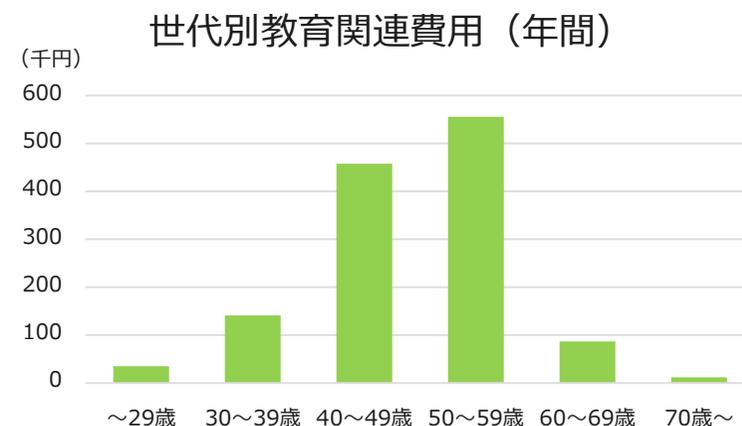
子どもの教育にかかる費用は年額で小学生35万円、中学生54万円と高額。学校教育費は年齢が上がるにつれ増加傾向。中学校では学校外活動費もピークに。

■ 子育て世代に特有の負担

子育て、教育にかかる費用はおおむね30歳代から50歳代にかけて発生。
→子育て世代の経済的負担を軽減することが重要。



出所 文部科学省「令和3年子供の学習費調査」



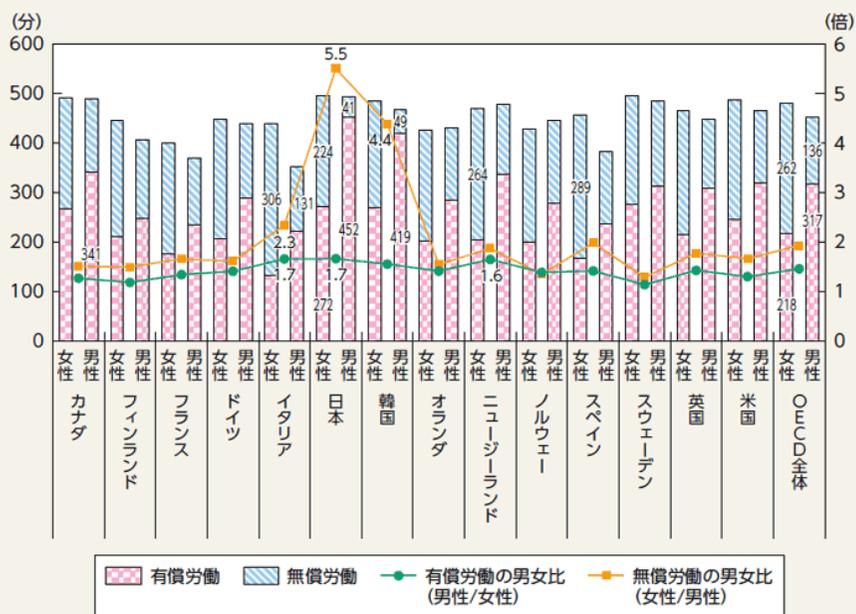
出所 総務省「令和4年家計調査（家計収支編）」



■家事・育児に要する時間

労働時間の長さに加え、家事・育児にかかる時間が長く、子育て世帯の時間的負担が大きい。共働きによる労働時間の増加も見込まれる中、子育ての時間的負担の軽減が急務。

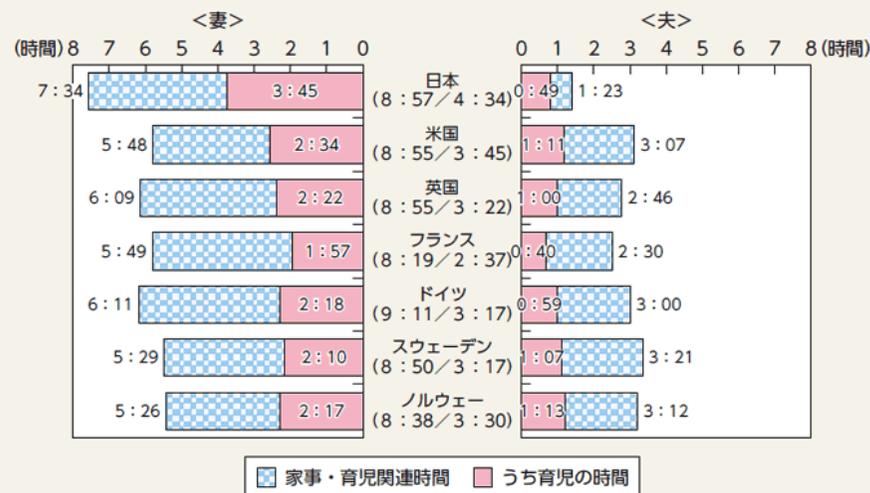
図表1 男女別に見た生活時間（週全体平均）（1日当たり、国際比較）



(備考) 1. OECD "Balancing paid work, unpaid work and leisure (2020)" をもとに、内閣府男女共同参画局にて作成。

出所 内閣府「男女共同参画白書 令和2年版」

図表2-2 6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（週全体平均）（1日当たり、国際比較）



(備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成28年), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2018) 及びEurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004) より作成。

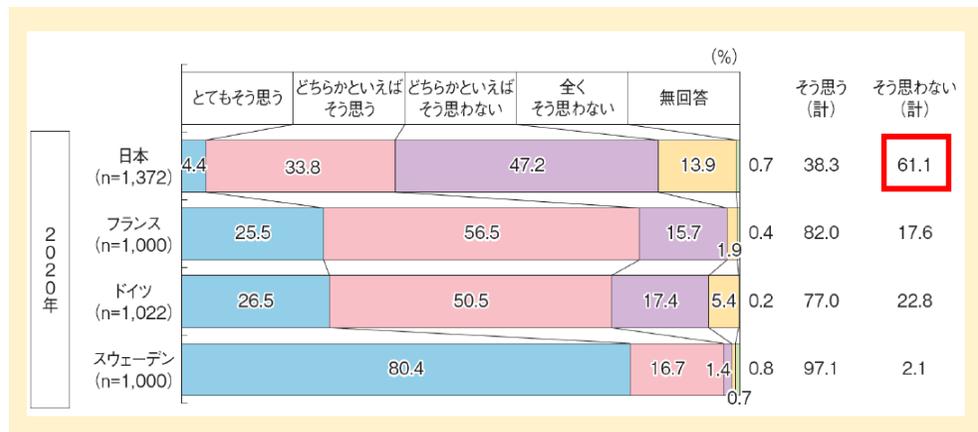
出所 内閣府「男女共同参画白書 令和2年版」



■ 子育て環境に対しての不安

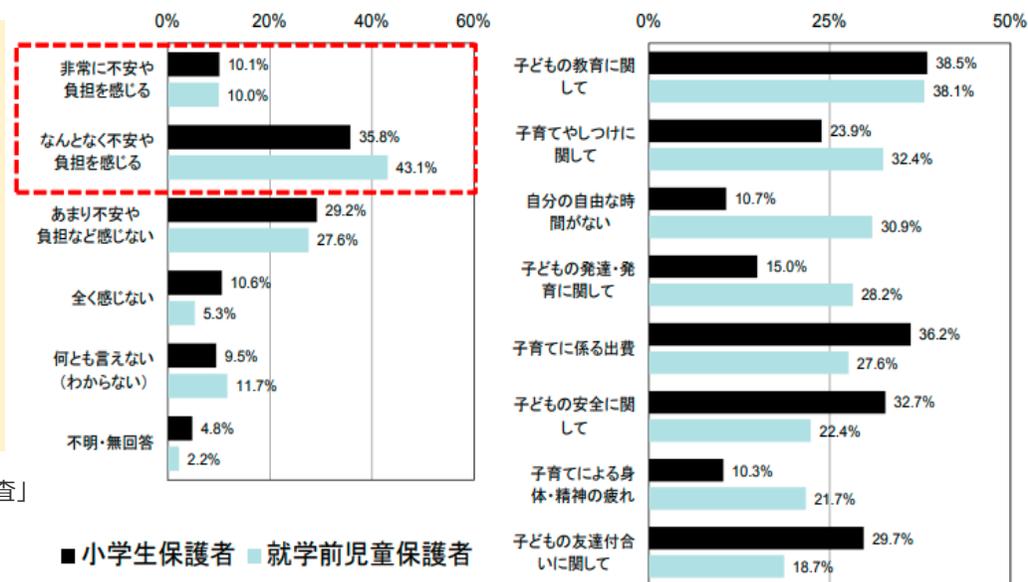
諸外国と比較し、子どもを生き育てやすいと思う割合が低い。
小学生の保護者、就学前児童の保護者のいずれも約半数が子育てに何らかの不安や負担を感じている。

「子供を生き育てやすい国だと思うか」



出所 令和2年度「少子化社会に関する国際意識調査」

子育ての不安や悩みについて



■ 小学生保護者 ■ 就学前児童保護者

出所 尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画・尼崎市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果報告書



尼崎市の持つポテンシャル



市内に駅が13か所

神戸・大阪・京都・奈良へ乗換なし！





■ 駅前の開発が進み、まちのイメージが向上

駅前の工場跡地などの開発により、駅前の景色が変わりつつあり、まちのイメージが大幅に向上。



JR尼崎駅北側の整備



JR塚口東側の整備

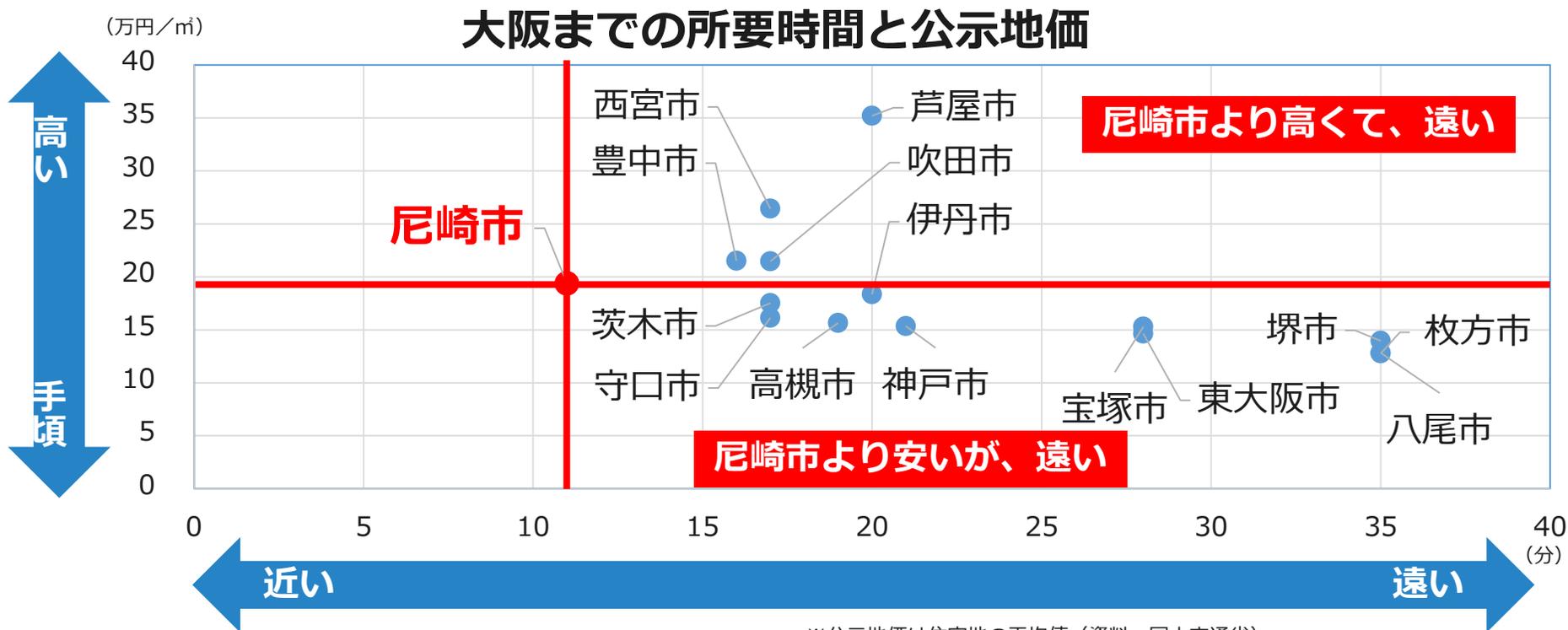


阪神出屋敷駅北側の改修



■大阪に近くて地価も手頃

大阪への所要時間が短いにも関わらず、地価は近隣市と比べて手頃で、利便性と地価のバランスがよい。



※公示地価は住宅地の平均値 (資料: 国土交通省)

※各市役所の最寄り駅を正午に出発し「大阪駅(JR)」 「大阪梅田駅(阪急)」 「大阪梅田駅(阪神)」のうち最も所要時間が短い駅までの所要時間 (資料: Yahooマップ) 本市調べ



■ 学校環境も大きく変わり学力も全国並みに

学力も全国平均と並び、ICTなどを活用した先進的な学びを実践。

インクルーシブ教育や不登校の子どもに対応した多様な学びの場も整備。

子ども・若者支援の取組は全国モデルに。



ワンストップで子どもを支援する「いくしあ」



全小学校に導入された電子黒板



小中学校では1人1台のタブレット



不登校の子どもを支援する多様な学びの場



若者の活動拠点「ユース交流センター」



■ 市内の施設も充実！

市内は面積もコンパクトで、子育てに必要な様々な施設も集積しています。

単位面積あたりの施設数（神戸市・阪神7市1町での比較）

	保育所	市立 小学校	市立 中学校	公立 高校	病院 診療所	鉄道駅
1位	尼崎市	尼崎市	尼崎市	尼崎市	尼崎市	尼崎市
2位	伊丹市	伊丹市	伊丹市	伊丹市	芦屋市	神戸市
3位	芦屋市	芦屋市	西宮市	芦屋市	伊丹市	西宮市

※本市調べ



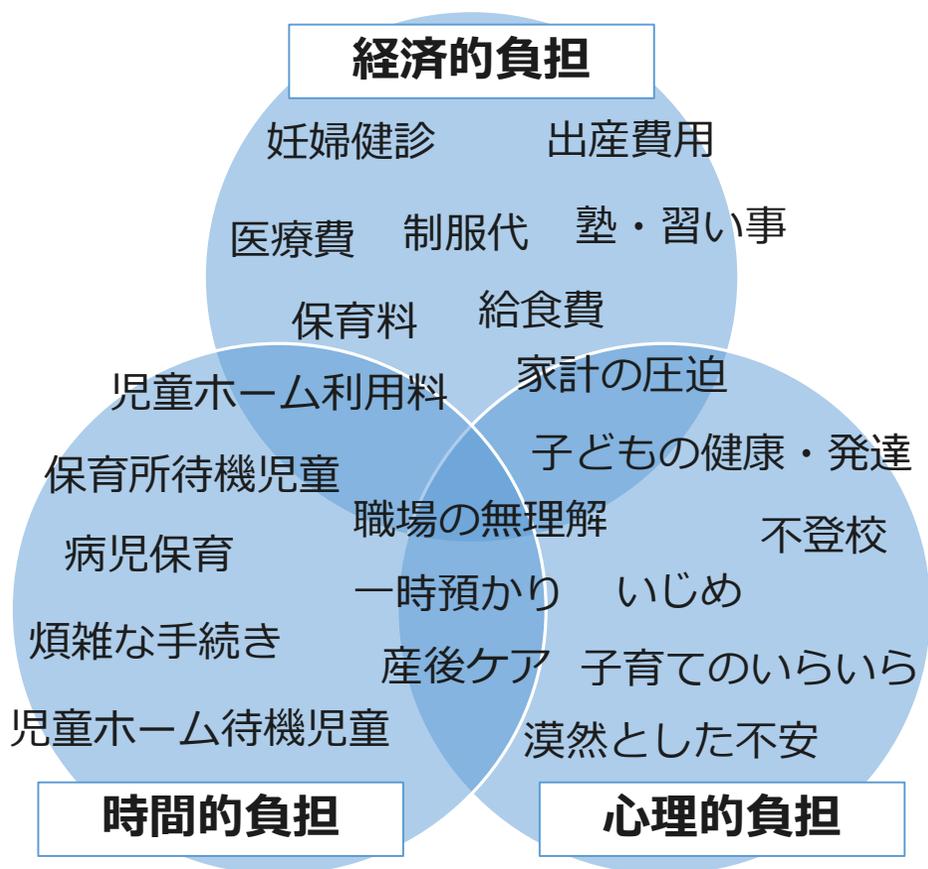
子ども・子育てアクションプランの内容

—3年間で40のアクションに50億円の投資—

このアクションプランは現時点における令和8年度までの構想を示したものです。
今後の社会状況の変化、政策調整等により追加、修正される場合があります。



■ 子ども・子育ての負担軽減と集中投資



■ 3つの負担軽減

子ども・子育てに伴う「**経済的負担**」「**時間的負担**」「**心理的負担**」の軽減を目指します。

■ 3年間で**50億円**の投資

令和6年度から令和8年度の3か年にわたり子ども・子育て分野に**新たに総額50億円**の**集中投資**を行います。

※投資的経費を含みます。

※総額は現時点における3年間の目標を示したものであり、個別の事業の予算については各年の予算編成において明示します。



I **家計をサポート！**（経済的負担の軽減）

子育てにかかる経済的負担を軽減するため、様々な子育てに要する**費用の低減**や**補助金の交付**などを行います。

II **ゆとりをサポート！**（時間的負担の軽減）

子育てにかかる時間的負担を軽減するため、ICTなどを活用し、子育てにかかる**諸手続きなどの効率化**を図ります。

III **安心をサポート！**（心理的負担の軽減）

子育てにかかる心理的負担を軽減するため、子育てに関する**不安などを軽減**する取組を実施します。

プラス1 積極的な情報発信・まちの魅力化

子ども・子育てに関する**積極的な情報発信**を行うとともに、**子育てしやすいまちの魅力化**に関する取組を実施します。



■ 保育料の引き下げ

R6実施

阪神間他都市と比較して高額となっている保育料区分の保育料を阪神間他都市水準以下に引き下げます。

(D10・D9階層)



■ 子どもの医療費助成の18歳までの拡充

令和8年度までに子どもの医療費助成を18歳まで拡大します。



■ フリースクール等の利用者への補助

県内初

R6実施

不登校によりフリースクール等に通所している児童生徒に対して、その利用料の一部を補助します。



■ その他

- 低所得世帯向け新生児聴覚検査の費用助成の実施
- 低所得世帯向け初回産科受診の費用助成の実施
- 妊婦健診の費用助成の拡充 など



■ 保育所待機児童ゼロの実現

R8年度までに**保育所待機児童ゼロ**を実現するため、**6か所**の**保育所新設**、**保育士の確保定着**に向けた取組を実施します。



■ 児童ホーム待機児童ゼロの実現

R8年度までに**児童ホーム待機児童ゼロ**を実現するため、空き教室の利用や民間児童ホームの増設に取り組みます。



■ 児童ホーム開所時間の19時までの延長 **R6実施**

保護者の多様な働き方に対応するため、児童ホームの開所時間を**19時まで延長**します。

■ 児童ホーム等への昼食配送

夏休み等の学校長期休業期間中に児童ホーム等に**昼食用弁当を配送**するサービスを導入し、家事負担の軽減を図ります。





■ 母子手帳アプリの機能拡充

すでに導入している**母子手帳アプリの機能**を拡充し、予防接種のスケジュール管理や各種セミナーの予約機能などを付加します。

■ 学校等の諸手続きのオンライン化

保育所、幼稚園、学校等での諸手続きや欠席連絡などを**オンラインで行う**ことができるようシステムを整備します。

■ 児童ホームでの連絡アプリ導入 **R6実施**

児童ホームにおいて児童の**入室管理**や**施設との連絡**などを行うシステムを導入します。



■ 児童ホーム等のWi-Fi整備 **R6実施**

児童ホーム、こどもクラブで児童がタブレット等を活用して、学習などができるよう**Wi-Fiを整備**します。





■ 産後ケア事業の拡充 **R6実施**

出産した女性の休息や子育て不安の解消のため、**日帰りや宿泊で休息できるサービス**を新設します。



■ 子育て家庭のショートステイ事業の拡充 **R6実施**

育児への不安や子育ての負担を軽減するため、**地域の里親を活用したショートステイ事業**を実施します。

■ こども家庭センター（仮称）の設置 **R6実施**

全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行う「**こども家庭センター**」（仮称）を設置します。

■ 24時間子育て相談窓口の開設

R8年度の本市独自の児童相談所の開設にあわせて、子育てについて**24時間電話相談可能な窓口**を設置します。





■ 学校環境の整備・充実

児童生徒が安心した学校生活を送ることができるよう**トイレの洋式化**等学校環境の整備を加速します。



■ 不登校の児童生徒の支援施策の拡充

不登校の児童生徒のための「**学びの多様化学校**」を設置するとともに、全小中学校に**校内の居場所**を整備します。

■ スクールロイヤールの設置 **R6実施**

学校でのいじめなどの諸問題に迅速に対応できるよう弁護士を**スクールロイヤール**として配置します。



■ スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置

学校における福祉的な課題に対応するため、**全市立中学校区に1名のスクールソーシャルワーカー**を配置します。



■ 図書館機能の充実

子どもや子育て世帯が利用しやすい図書館を目指し、**北図書館の再整備**や**市全域での図書館機能の充実**を行います。



■ 企業等による育児休業取得等の促進

入札等における育児休業取得推進企業の加点等、市内企業等による仕事と子育ての両立に向けた取組を促進します。

■ 駅周辺での子育て情報等の発信 **R6実施**

駅周辺におけるエリアブランディングにあわせて、子育てなどに関する情報の発信を行います。

■ 子育て情報発信サイトの作成 **R6実施**

市内の子育てに関する情報などを積極的に発信するための**WEBサイト**を作成します。



子ども・子育て 40のアクション①



No	項目	3つのサポート+1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
1	保育料の引き下げ	●				●	
2	フリースクール等の利用者への補助	●				●	
3	子どもの医療費助成の18歳までの拡充	●					●
4	低所得世帯向け新生児聴覚検査の費用助成の実施	●				●	
5	低所得世帯向け初回産科受診料の費用助成の実施	●				●	
6	妊婦健診の費用助成の拡充	●					●
7	多子世帯向け負担軽減策の実施	●					●
8	保育所待機児童ゼロの実現		●			●	→
9	児童ホーム開所時間の延長		●			●	
10	児童ホーム待機児童ゼロの実現		●			●	→
11	児童ホーム等への昼食配送		●				●
12	育児休業中の児童ホーム利用条件の緩和		●				●
13	母子手帳アプリの機能拡充		●				●
14	児童ホームでの連絡アプリの導入		●			●	
15	保育所、幼稚園、学校の諸手続きのオンライン化		●				●



No	項目	3つのサポート+1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
16	児童ホーム・こどもクラブのWi-Fi整備		●			●	
17	学校諸費と給食費の徴収システムの改善		●				●
18	産後ケア事業の拡充			●		●	
19	24時間子育て相談窓口の開設			●			●
20	スクールソーシャルワーカーの増員			●		●	→
21	子どもに関する各種データ連携による支援の強化			●		●	
22	児童相談所の開設			●			●
23	里親制度の普及・啓発、里親による支援の充実			●			●
24	母子保健と児童福祉を一体的に対応するセンターの設置			●		●	
25	困難な状況にある子どもの居場所支援の実施			●		●	
26	里親を活用した子育て家庭のショートステイ事業の実施			●		●	
27	学校環境の整備・充実（トイレの洋式化等）			●		●	→
28	学校ICT環境の整備			●			●
29	保育所における医療的ケア児の受入拡大			●		●	
30	スクールロイヤーの設置			●		●	



No	項目	3つのサポート+1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
31	不登校児童生徒の校内居場所の設置			●		●	
32	「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」の設置			●			●
33	日本語ボランティアの学校派遣の試行実施			●		●	
34	子育て情報発信サイトの作成				●	●	
35	図書館機能の充実（北図書館の再整備など）				●		●
36	屋内遊戯施設「Mooviiあまがさき」等におけるイベントの充実				●	●	
37	都市公園の充実（インクルーシブ公園の整備など）				●		●
38	子育て世帯に向けた住宅確保の支援				●	●	
39	駅周辺での子育て情報等の発信				●	●	
40	企業等による育休取得等の促進				●		●